

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	f l a t (児童発達支援/放課後等デイサービス) *2026年3月31日にて児童発達支援は事業廃止→放課後等デイサービスに一本化予定		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年1月12日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 保護者の話を聞く時間が確保しやすく、疑問点や改善点など早めの対応が可能	・ 支援内容、目的や限界を事業所なりに説明できること	・ 外部機関のアドバイザー等に指導いただく
2	* 「障害」という視点にフォーカスしすぎない全人的理解を目指している * 身近な隣人として、大人と子供という枠にとらわれないでともに学びあう関係性の構築を目指している	・ 各種アセスメントに関する「一般的な」理解 ・ 生活で生じる様々な不具合に見えるものは「問題」ではなく「事象」として認識	・ 各種アセスメントには表現されていない事象に関する理解
3	* 個別の関係性の延長線上に集団生活があると位置づけて支援を組み立てていく		・ 家庭や集団活動場面への訪問活動を必要に応じて検討 ・ 日常生活場面があくまで本来の場所だと位置付けて考えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 同世代の関係性を築く場がない	・ 個別支援にこだわっているため、ある程度必然的な帰結と考えている。	・ 集団の支援を否定するのではなく、あくまで「個別支援」の延長線上にあるものという理解で検討する。
2	* 具体的な支援策、支援内容がわかりづらい	・ 何らかの固有の名称がついた手法・手段等を用いていないため、何をするとところなのかかわかりづらくなっているのはある程度仕方ないと考えている。 ・ 一緒に活動しつつ様子を見ながら「共に過ごす」ことを志向しているため。(≒参与観察的?)	・ f l a t の特徴を知っていただくための情報発信の充実 ・ 体験利用の柔軟性(これからも継続)
3	* 非常時対応の周知	・ 個別対応で原則複数児童の利用を考えていないことから生じる事態と考えている。	・ 避難場所、緊急時連絡先などを記した配布物を各種マニュアル等とは別途用意して周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

【児童発達支援】

事業所名	f l a t
------	---------

公表日 2026年2月13日

* 児童発達支援は2026年3月末で廃止予定となっております

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1				走り回ったり運動するスペースが十分あると思います	今後も安全に配慮しつつ、のびのびと活動していただけるよう心がけてまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1				個別療育なので、子ども一人に対してたくさん先生がいらっしゃいます	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1				教室全体がとても綺麗で清潔です	今後も引き続き心がけてまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1				本人にあった支援計画が作られていると思います	今後も引き続きこころがけてまいります
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1				毎回子どもがやりたい遊びや活動をして頂いています	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					1	弊所の採るシステムではある程度仕方ないことかもしれないと認識しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1				分かりやすく説明していただきました	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1				とても丁寧に説明していただきました	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1				子どもの普段の様子や困りごとの話を聞いて下さり、アドバイスもしていただいています	事業所として今後もそうやっていただけよう継続していきたいです！
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					1	(今のところこうした機会はありませんでしたが) 子どもへ個別対応をしておりますので、家族への対応も基本的には個別で検討させていただくことになろうかと思えます

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				とても綺麗で分かりやすいホームページだと思います	ありがとうございます！
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				f l a tの先生方が大好きで楽しく安心感を持って通っています	ありがとうございます！
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				子どもは毎回、「今日はf l a tの日だ！」と楽しみに通っています	楽しみにしてもらえるように、今後も心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 f l a t

公表日 2026年2月13日

*児童発達支援は2026年3月末で廃止予定となっております

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		基本単独児童による利用が原則としているので、スペース的には申し分ないと考えている	まれに時間が重なる場合があるので、その際の事前の周知や理解
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		原則一組づつの対応なので、保護者及び兄弟姉妹同伴でも人員的には十分対応できる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンや臥床対応できる個室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表に限らず、日ごろから話をうかがう機会を重視するよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部アドバイザーの導入	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修や学会参加を積極的に推奨している希望があれば比較的自由に研修等に参加している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		こちらが準備した固定化したプログラムがない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		4	基本的に完全な個別サポートを提供しているので、集団場面は生じない（複数の職員が一度に関わる場面は多い）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		外部機関との関係は重視している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		その機会があれば、行う予定でいる	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	これまで児童発達支援センターと連携を図る場面がなかった	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		こうした機会はないため今後の課題か
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	個別具体的な方策を家族と一緒に考えていくスタイルを重視している		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		事業所の強みだと考えている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	個別支援にこだわっているため、ある程度仕方がないかもしれないと考えている	父母やその他家族への対応も原則個別支援で考えている。実践する中で交流機会の必要性を感じたり、共通のニーズが生まれれば検討。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1	・記録は基本的にロッカーに保管および電子カルテ	・スタッフの使用する週間予定表の扱い
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	・町内会に所属 ・大学や専門学校からの実習生の受け入れを積極的に実施している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4		計画は策定しているが周知に工夫が必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4		計画は策定しているが周知に工夫が必要
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4	保護者が同席する場面を原則	周知活動は今後の課題と認識している
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	4	虐待防止研修は持ち回りで受講、フィードバック	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	4	基本的に身体拘束はなく、保護者同席での利用のみ		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	f l a t		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 保護者の話を聞く時間が確保しやすく、疑問点や改善点など早めの対応が可能	・ 支援内容、目的や限界を事業所なりに説明できること	・ 外部機関のアドバイザー等に指導いただく
2	* 「障害」という視点にフォーカスしすぎない全人的理解を目指している * 身近な隣人として、大人と子供という枠にとらわれないでともに学びあう関係性の構築を目指している	・ 各種アセスメントに関する「一般的な」理解 ・ 生活で生じる様々な不具合に見えるものは「問題」ではなく「事象」として認識	・ 各種アセスメントには表現されていない事象に関する理解
3	* 個別の関係性の延長線上に集団生活があると位置づけて支援を組み立てていく		・ 家庭や集団活動場面への訪問活動を必要に応じて検討 ・ 日常生活場面があくまで本来の場所だと位置付けて考えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 同世代の関係性を築く場がない	・ 個別支援にこだわっているため、ある程度必然的な帰結と考えている。	・ 集団の支援を否定するのではなく、あくまで「個別支援」の延長線上にあるものという理解で検討する。
2	* 具体的な支援策、支援内容がわかりづらい	・ 何らかの固有の名称がついた手法・手段等を用いていないため、何をするとところなのかかわかりづらくなっているのはある程度仕方がないと考えている。 ・ 一緒に活動しつつ様子を見ながら(参与観察的に)「共に過ごす」ことを志向しているため。	・ f l a t の特徴を知っていただくための情報発信の充実 ・ 体験利用の柔軟性(これからも継続)
3	* 非常時対応の周知	・ 個別対応で原則複数児童の利用を考えていないことから生じる事態と考えている	・ 避難場所、緊急時連絡先などを記した配布物をマニュアル等とは別途用意して周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	f l a t
------	---------

公表日 2026年2月13日

利用児童数 16

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・子供一人の利用なので、子どもがよく動いてもスペースが十分にあります。	今後も安全に配慮しつつ、のびのびと活動していただけるよう心がけてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				・ 職員の皆さんと過ごすことが出来てよい ・ 子ども一人に対して、いつも職員の方が多くついで来ています。 ・ とても手厚いです。	事業所として今後もそう言っていただけるよう継続していきたいと思います！
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				・ 清潔です。おもちゃ、スイングなどの遊具も多く、活動がたくさんできると思います。 ・	今後も引き続き心がけてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				・ 子どものことを肯定的に理解してくださっています。	今後もそう言っていただけるよう尽力します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			・ 子ども本人からのやりたいことを尊重して活動するので、子どもが同じ活動を好むと固定化になりますがそれは仕方がないのかなと思います。	固定化した活動の中においても、ちょっとした変化に気づくことができるよう、双方向のコミュニケーションを意識してこれからも一緒に活動してまいりたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		7	6	・ 利用している息子が他の児童らとの交流を希望していないのでありがたく思っています。	弊所の採るシステムではある程度仕方ないことかもしれないと認識しています。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		3	・ 無回答1 ・ 親の相談にはいつも丁寧に対応していただいています。 ・ オススメの本を紹介していただき、家庭でも取り組めることを家庭で負担にならないよう配慮していただきつつ紹介していただきました ・ (回答は) 私が把握していないため。	フォーマット化したものはないのですが、その子の特性に応じた個別具体的な方策を一緒に考えていきたいと思えます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14				・ 子どもの事で話がしやすく、しっかり聞いてくださいます。 ・ どのようにしたらできるようになるか一緒に考えてくださり、すぐ実行してもらえます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				・ 毎回相談させてもらっています。 ・ メールなどで常に連絡できています。	事業所として今後もそう言っていただけるよう継続していきたいと思います！

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・皆さん優しく、あたたかく支援してくださっています。 ・保護者が救われています。	事業所として今後もそう言っていただけるよう継続していきたいと思います！
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	3	6		(今のところこうした機会はありませんでしたか) 子どもへ個別対応をしていますので、家族への対応も基本的には個別で検討させていただくことになるうかと思えます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・相談に対してその都度、丁寧にしっかりとこちらの話を聞いてくださっています。 ・トイレトペーパーの扱いについての介入をお願いしたらすぐに動作のアセスメントや支援案を複数提示してもらえて心強かった。	・なんでも話してもらいやすいように、職員自体も余裕を持って接することができるような体制作りを心がけてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1				
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1	1	7	・無回答1 ・訓練についてはわかりません。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1	10	・無回答1 ・訓練についてはわかりません。	周知は不十分だったという認識です。なんらかの改善手段を講じる予定です。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	・無回答2 ・通所開始から3か月程度であり、そのような場面は発生していない。	
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		1	2	・無回答1 ・通所開始から3か月程度であり、そのような場面は発生していない。	周知が不十分だったという認識です。なんらかの改善手段を講じる予定です。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				・落ち着いて通所でできています。 ・flatは雲のイメージでゆっくり流れて過ごしやすいと言っていました。 ・いつも子どもがしたいことに全力で向き合い、温かく寄り添っていただきありがとうございます。	ありがとうございます！
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				・子どもがやりたいことをさせていただき、行くことがとても楽しみです!! ・子どもは行くのを楽しみにしています。 ・flatさんでの時間が楽しくて、大好きです。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・一番好きな事業所と言っています。	楽しみにしてもらえるように、今後も心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・子どもの好きなことやりたい事、気持ち尊重して頂き安心してすごせる居場所がとてもありがたいです。 ・感謝の気持ちでいっぱいです!!	支援に関する「正解」を私たちは持っていませんが、これからも一生懸命一緒に遊び、悩み、体験を共有していきたいと思っています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月13日				
f l a t						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		基本単独児童による利用が原則としているので、スペース的には申し分ないと考えている	まれに時間が重なる場合があるので、その際の事前の周知や理解
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		原則一組づつの対応なので、保護者及び兄弟姉妹同伴でも人員的には十分対応できる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンや臥床対応できる個室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表に限らず、日ごろから話をうかがう機会を重視するよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部アドバイザーの導入	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修や学会参加を積極的に推奨している 希望があれば比較的自由に研修等に参加している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		こちらが準備した固定化したプログラムがない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		4	基本的に完全な個別サポートを提供しているので、集団場面は生じない（複数の職員が一度に関わる場面は多い）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	個別具体的な方策を家族と一緒に考えていくスタイルを重視している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		相談に応じやすいスタイル（個別対応が基本）だと考えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	個別支援にこだわっているため、ある程度仕方がないと考えている	父母やその他家族への対応も原則個別支援で考えている。実践する中で交流機会の必要性を感じたり、共通のニーズが生まれれば検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1	・記録は基本的にロッカーに保管および電子カルテ	・スタッフの使用する週間予定表の扱い
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・町内会に所属している ・大学や専門学校からの実習生を積極的に受け入れている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4		計画は策定しているが、周知に工夫が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			計画は策定しているが、周知に工夫が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		周知に工夫は必要と考えている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		保護者同伴のことも多く、基本的に身体拘束が必要な場面は生じていない		